

折尾愛真

NEWS LETTER



2012年 3月
12号 Vol. 52

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号
TEL 093-602-2100 (代表) FAX 093-692-5690
E-mail: info@orioaishin.ac.jp
URL: http://www.orioaishin.ac.jp/

学園聖句： 「光の子らしく歩きなさい」
(エペソ人への手紙5章8節)

建学の精神 *Since 1935* (昭和10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科	看護科	商業科
特進コース	看護科	商業コース
普通コース	看護専攻科	美容専科 コース
健康福祉コース		製菓衛生師 コース
保育コース		
インターコース		
一貫コース		

卒業証書授与式

第62回卒業証書授与式 (通算76回)

3月3日(土)、第62回卒業証書授与式が教職員や多くの保護者に見守られながら厳かな雰囲気のもとパターンソンホール講堂で行われました。式の最後に恒例となった卒業生によるハレルヤコーラスでは、感動で歌えない卒業生もいて保護者から大きな拍手をもらっていました。



専攻科 第41回 卒業証書授与式

3月6日(火)、41回目となる看護専攻科修了証書授与式があり、最多の55名の学生が修了証を手にしました。中には、感謝の気持ちと喜びが重なって思わず握手をもとめる学生もいました。



一人ひとりに修了証が
手渡されました。

保育コース

施設見学

3月9日(金)、1年生対象に校外体験学習を実施しました。北九州市立子育てふれあい交流プラザで行われた学習は北九州市が取り組んでいる子育て支援への取り組みや子育て中の家族の支援における保育士の役割とはどういうものかを学びました。



看護科

第3回教育講演会

2月18日(土)、今年度第3回教育講演会が、京都回生病院看護部長の門 真由美先生をお迎えしての講演がありました。「良き職業人として成長するために」と題して1、3年生対象に講演をして頂きました。



講演中の
門 真由美先生



看護師
国家試験仕行会

2月18日(土)、第101回看護師国家試験を受ける専攻科2年生のための壮行会がありました。今回最多の55名が受験予定で、校長先生初め先生方の激励の言葉を頂き、学生代表の有馬実香さんは、全員合格をめざして頑張りますと力強く述べていました。結果は3月下旬の予定です。



学生代表有馬実香さん

健康福祉コース

修了証授与

2月20日(月)、訪問介護員養成研修2級課程及び難病患者等ホームヘルパー修了証書授与式がありました。本校は福岡県知事より認定された養成施設で、決められた単位を履修修得すれば与えられ、3年生全員に修了証が渡されました。

製菓衛生師コース

特別授業

特別進学コース

進路講演会

2月18日(土)、2年生対象に特別授業が福岡市の専門学校福岡ビジョナリーアーツにて行われました。飴細工の特別授業に生徒達も興味津津でいろいろな形に挑戦していました。



真剣に取り組んでいる生徒達

2月29日(水)、ファイナルランナーの鶴田明子氏をお迎えして進路講演会がありました。「考えよう！ライフプラン～高校生の君たちへ～」と題して1,2年生対象に講演をして頂きました。



吹奏楽部定期演奏会

3月10日(土)、第5回定期演奏会が中間ハーモニーホールにて行われました。毎年趣向を凝らした演出に会場から大きな拍手をもらっていました。



アンコールでは「ふるさと」を合唱しました。

折尾愛真株式会社

第4回株主総会

2月23日(木)、第4回折尾愛真株式会社株主総会がありました。平成23年度事業報告を総務部長の野田佳希さん、会計報告を経理部長の松田朱音さんより説明があり全員一致で承認されました。また、旧役員の退任と新役員の選出があり来年度に向けての活動方針が決まりました。新役員は次の通りです。

役職	氏名	出身中学
代表取締役	久米 由里花	岡垣
総務部長	松山 礼麗	中間北
総務次長	安西 康彦	中央
製造部長	坂本 弥津江	石峯
製造次長	藤田 実結	緑ヶ丘
製造次長	福田 直美	折尾
製造次長	福山 夕姫	遠賀南
企画販売部長	萩原 誠志	芦屋
企画販売次長	河野 直利	折尾愛真
宣伝装飾部長	原 悠季乃	高生
宣伝装飾次長	森 彩香	八児
経理部長	吉田 千景	西海市立大島
経理次長	池田 未来	枝光台
監査役	林 大輝	上津役
監査役	田崎 野愛	浅川

石原正則記念橋完成式

2月21日(火)、昨年11月11日に他界された生徒想いの先生が生前いつも気にしておられた橋を、多額のご寄付のごく一部より修復し、御夫人を始めご家族の出席のもと石原正則記念橋として完成式がありました。



テープカット中の奥さまとお嬢様

「折尾歴史探訪」

第31回 相坂の古墳群

国道一九九号線の本城三丁目の交差点近くの山の手相坂の横穴式古墳群があります。昭和の初期、私が本城小学校の低学年の頃、学校の廊下に古墳から発掘された勾玉や錆びた剣や土器類が多数展示されていたのを思い出しますがこれら出土品は昭和九年の調査で発見されたものでこの調査で横穴式の古墳が九基見付かったと云います。その後、放置されたままでしたが、平成二年によく再調査に着手、四次にわたって調査が行われ二十八基が確認されております。総数三十基はあろうと推定されております。この四次にわたる調査で碧玉製管玉や須恵器等多数の副葬品が出土し、さらに、奥室壁に魚や人物の線刻が発見されています。この古墳が造られた時代は古墳時代後期(五三九～六九一)であろうと云われていますが、時代は欽明天皇が即位された時代から持統天皇までの間で、特に、五五〇年頃は北部九州に横穴式石室に彩色壁画が盛んに造られるようになりました。五六〇年頃には家族を合装する横穴式石室墳や横穴墳が群衆して造られるようになります。既に当時家父長を中心とした家族が農耕生活を営みながら分立、規模は小さいが家族墓を造りそれぞれ家族単位の横穴式の墓が造られていった時代でした。今から凡そ千五百年前ここ本城の地にも、既に人々の生活があった証です。相坂古墳群と同時代、日本は大和朝廷が確立されていく時代で、ここ赤坂周辺にも四世紀から六世紀、今から凡そ千五百年前、人々の生活が営まれていたことが推測されます。

長らく掲載いたしました「折尾歴史探訪」は今回を持ちまして終了させていただきます。資料を提供して頂きました小田博之先生には深く感謝申し上げます。

<小田弘之氏著『折尾周辺の史跡めぐり』より>